



令和元年度 保護者・生徒・地域の皆さんへ

# 長野高等学校 学校長だより

(「学校長だより」はホームページにも掲載しています。)

令和元年  
No 3

7月2日(火)

## 外部機関・委員会の委員等として

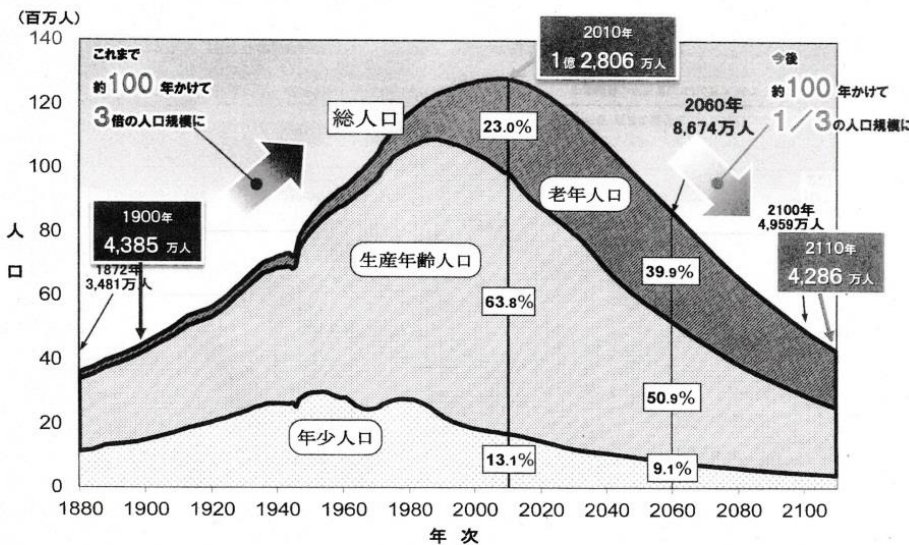
私は長野高校の校長であると同時に、本年度、旧第3通学区（長水地区）の高等学校の校長会長という役目も引き受けているため様々な外部機関の委員等を務めています。例えば「長野市青少年健全育成審議会委員」「長野地方裁判所委員」「信州大学附属中学校学校評議員」等々です。

特に6月26日（水）には「旧第3通学区「高校の将来像を考える地域の協議会」」の委員として第1回会議に参加しました。この協議会は、昨年9月に県教育委員会が定めた『高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針』に基づいて、旧第3通学区の将来を見据えた高校の学びのあり方について、県教育委員会に対して意見及び提案をすることを目的として設置されました。翌日の信濃毎日新聞社の記事に私の発言として「都市部でさえ学級数が少なく、生徒のためにこれでよいのかという危機感がある。何らかの判断が必要だと考える。」との内容が掲載され、何か再編だけについて発言したかのように誤解されそうですが、「いかに学びを変えるか」という点について、その重要性を述べるとともに、地区の各高校での実践についても他の委員の皆さんに紹介しました。

そもそもなぜ学びを変える必要があるのか、それは、言うまでもなく社会が変化しているからです。社会の変化の一例が日本の人口推移です。下の図は、平成28年度全国普通科高等学校長会（札幌大会）で文部科学省が示した日本の人口推移とその予測です。ざっくりと捉えると100年かけて3倍になった人口が、また100年かけて3分の1になる、という図です。日本は欧米に追い付き追い越せという方向を目指してきた100年間、敗戦という経験もありながら復興を果たしました。当時、人口はどんどん増えて、生産者と消費者が共に増えていくという社会を前提とした教育が行われていました。しかし、図を見れば明らかなように日本は成熟社会・人口減少社会へ突入している現在、教育の変革が

必要です。現在の日本（文部科学省）や長野県（教育委員会）の方針や、その動きの一環である標記6月26日の「……地域の協議会」について、その理由の一つだけを示しましたが、今後必要に応じて、資料を示す等、情報提供していきたいと思っています。

日本の人口推移とその予測（明治期～21世紀～22世紀）



(裏に続く……)

国立社会保障・人口問題研究所作成資料  
(旧内閣統計局推計、総務省統計局「国勢調査」「推計人口」等、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」「出生中位・死亡中位推計」を一部加工)

## 長野高校OB・OGとの交流

4月以来、本校の班活動や同窓会等、OB・OGの皆さんと懇親を深める機会が多いのですが、6月5日（水）の第1回学校評議員会でも委員の方から「多くの同窓生が学校に期待をしているし、何か力になりたいと思っているので、同窓生の支援を活かす方法を考えたほうがいいのではないか。」というご意見が出されました。そんな中、6月8日（土）には「法曹金鶏会」が長野市で開催され、私も出席させていただきました。この会は、裁判官、検事、弁護士等の法曹界で活躍されている同窓生の皆さんの親睦の会で、当日は30数人が参加されました。その半数以上は首都圏からですが、中には札幌から駆け付けた方もおられました。この会の中心人物は、平成16年から20年まで最高裁判所判事を務められた才口千晴先生（高9回）で、才口先生は最高裁判所を退官後、現在も弁護士事務所で後輩の指導にあたられており、そのバイタリティーには感服しました。先生は本校在学中は書道班に所属し、今でも趣味の書に親しまれており、学校にも校長室や図書館にその書が飾られています。この会では、長野地方裁判所・長野家庭裁判所の所長である本校OBの中山孝雄氏（高30回）とも親睦を深めました。管轄の高校のOBが所長であることは、大変稀有なことなので、本校の生徒の皆さんが、法曹界への進路実現や法学について考えるきっかけにするため、裁判所等と何らかの協働ができれば、と思っています。



才口先生の書（校長室）

## 停電と断水等、ご迷惑をおかけしました。

6月12日（水）の11時頃に中部電力から突然「貴校への引き込み線周辺で異常が確認され、周辺地域の全停電を防止するため、11時15分で切電したい。」との電話がありました。右の写真にあるように、本校敷地の南東の隅に中部電力からの引き込みの電柱があり、ここに付属しているヒューズ（電力が過剰に流れないようにするための電子部品）の故障が原因です。さらに部品の在庫がなかったために、翌日までの停電となりました。本校は上下水道を常時ポンプアップする仕組みなので、電力の遮断によって即座に断水となってしまいました。旧校舎（金鶏会館）とは電気・水道は別系統になっているため、金鶏会館等のトイレ・水道を借用しましたが、現校舎のトイレを使用するために急きょトイレ前に大きなタンクを用意し、保健委員の皆さん等の協力で、水を運び入れてもらいました。意欲的に働いてくれた生徒の皆さんに感謝いたします。また、当日は電気が点かず、夜間授業はできないので、定時制は予定していた定期試験を延期して、1時間のLHRのみで生徒の皆さんには帰宅してもらいました。大変ご迷惑をおかけしました。



（生徒の皆さんは、この『学校長だより』を読んだ後、保護者に渡してください。）

4月から着工していたエアコン設置（県の工事分）については6月中に工事が完了し、7月1日（月）から運用開始になりました。今後は、同窓会の120周年事業で、残りの教室や研究室に設置いただく予定で、お盆過ぎには、ほぼすべての教室・研究室にエアコン設置が完了する見込みです。